令和２年９月度理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和２年８月２６日（水）
２．開 催 日 時　令和２年９月１６日（水）　１３時００分～１５時００分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２２人
５．監 事 総 数　３人
６．出席理事数　１８人（Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　１人（Web 会議システムによる出席　１人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、齊藤 基樹、伊藤 雄平、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、藤田 亮則、後藤 章洋、小澤 恒夫、富居 博治、玉木 寛之、上島　健、高橋　明、安室 篤志

９．出席監事の氏名

川村 道夫

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　賛助会員の脱退について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、９月３０日での賛助会員の脱退について報告があった。

株式会社アイエムジェイ　代表取締役　佐藤 拓哉

嶋崎議長は、組合員の脱退について議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　東京工業大学製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から今年度開催を中止いたしました第 7 期の東京工業大学製造中核人材育成講座「金属熱処理スーパーマイスタープログラム」の来年 4 月の開催につきまして、東京工業大学の竹山教授にご相談したことの報告があり、組合に対して、次の２点について打診があり、検討してほしい旨の説明があった。

①現状での大学の方針による「オンライン講義」での受講について
大学の現状は、座学についてはオンライン講義、実習については未定。
受講者がオンライン講義で受講することについて問題がないのか。
②インターンシップ企業の追加について
オリエンタルエンヂニアリング㈱の河田前社長より、退任にあたりインターンシップの受け入れが難しいとの連絡があったので、インターンシップ企業の１社追加が可能かどうかと出来ない場合に残りの３社で受け入れ対応が出来るか。

嶋崎議長は、この育成講座を続けて行くことが必要であると述べられ、正副理事長会で検討したが、現時点でオンライン講義について可否を判断することが難しいので、判断材料として組合でWeb講習会のテストを行い、長所・短所を洗い出してから大学側と話し合いを持ちたいと述べられ、意見が求められた。

横山理事から、講師の経験が浅いので、テストのWeb講習会については永年講師をお願いしている先生方も参加をお願いしたいと提案があった。

齋藤理事から、この講座を立ち上げる時に１年間先生方の講義を検証する場があったが、それ以来無く、オンライン講座であれば確認できる為良いと意見があった。また東京都立産業技術研究センターでの実習の受け入れが出来るのか質問があった。

富居理事より、Webで講習会の開催の場合に費用的な部分は削減できるのかと質問があった。

嶋崎議長から、いただいた意見を踏まえて検討して行きたいことが述べられ、インターンシップ企業については、オリエンタルエンヂニアリング㈱の小崎新社長と話し合いたいと述べられた。

田村理事より、河田前社長は育成講座の講師をしていたが、継続して講師を引き受けていただけるのかと質問があり、安室事務局長から大学側に確認すると回答があった。

続けて田村理事より、インターンシップ企業については、オリエンタルエンヂニアリング㈱で実施されていた内容を踏まえる必要があるのではないかと意見があった。

嶋崎議長から他社にお願いすることになった場合は、考慮したいと述べられた。

嶋崎議長は、引き続き検討して行くことで議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第３号議案　第２回新型コロナウイルス感染症による影響度調査結果について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から資料に基づき、調査結果について報告があり、関東経済産業局に業界の情報として提供し、更なる支援をお願いしたことの説明があった。

嶋崎議長から、調査結果について意見が求められた。

伊藤理事から、行政や多方面から調査依頼が来ていると述べられた。

齋藤理事から、企業継続に役立つような情報や手法（融資や税金対策など）を取り入れた内容にして欲しいと意見が述べられた。

高橋理事から、営業活動が制限されているので、取引先との情報交換の成功例について伺いたいとの意見があった。南副理事長から、マーケティング委員会ではまだ営業活動は制限されている意見が多かったと報告があった。

齋藤理事から、Webによる工程監査を受けたことの報告があり、この件も調査に加えて欲しいと意見があった。

嶋崎議長から、更にブラッシュアップして調査を行うことで、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第４号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により､安室事務局長から､８月７日に開催された令和２年度第２回 BCP 推進 WG について、議事録に基づき説明があった。①今後の進め方について（エリアリーダーの選出、サブ策定員の育成）、②感染症対策など。玉木リーダーから、①参加企業以外にもエリアリーダーの協力をお願いしたいこと、②助成金に関するサポートを行いたいこと、③訓練の実施について補足説明があった。

後藤理事から、コロナも含めて BCP 策定に協力したい旨、述べられた。

小澤理事から、コロナ感染が広まった場合の対策を練っているので他社と情報交換が出来ると良いとの意見があった。

安室事務局長より、９月２日に Web で開催したマーケティング委員会について報告があった。主な内容としては、①素形材取引ガイドライン改定動向、②金属熱処理加工の価格及び使用設備調査結果について、③市場動向に関する情報交換について。

藤田理事から、中部地区で自動車関係が戻りつつあるという情報が得られたので良かったとの意見があった。

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、９月４日に開催された令和２年度第２回総務委員会について、議事録に基づき説明があった。①事業計画に関する情報交換（組合創立５０周年について）、②組合 HP の企業情報の更新の働き掛け、バナー広告、各委員会のトピックスの掲載、③外国人実習制度の進捗状況について（オブザーバーの一般社団法人日本金属熱処理工業会石原専務理事から説明があった。）

原田副理事長から、①２０２２年に創立５０周年を迎えるので、来年度から準備を進めて行くこと、②将来的な人材不足を考慮して外国人実習制度を立ち上げ、外国人の雇用を進めて行きたいことについて補足説明があった。

嶋崎議長から、資料に基づき、一般社団法人日本金属熱処理工業会で取り組んでいる外国人実習制度の認定までの流れについて説明があり、タイ及びベトナムとの技術の差を示すための写真の入手に苦慮していることの報告があり、情報提供のお願いがなされた。

後藤理事及び川村監事から、外国人実習制度を進めて欲しい旨述べられた。

安室事務局長から、９月８日開催の技術・品質合同委員会について報告があった。主な内容としては、①下期の活動計画について（第５回品質活動発表会については Web 開催を念頭に検討することになる。）、②来年度の講習会について（Web 開催［Web 開催、Web と参加型］を中心に、参加型［感染防止対策］の検討も行うこと。）、③BCP 推進 WG 報告、④３級技能検定試験（東京都は実施しないこと。）

曽根副理事長から、講習会の Web 開催が必要になって来るが、講師の方々の負担増（資料の再作成と講義の進め方）とアンケートから東京近郊エリアと地方との意識の差を感じたことの説明があった。

嶋崎議長から、Web 講習会のテストの実施について早急に進めるように指示があった。

横山理事から、４月の初級熱処理については、助成金の対象になるのかの調査を行うことの説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第５号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、令和２年７月、８月の組合員・賛助会員の異動について報告があった。

嶋崎議長から、創立５０周年については積立金と合わせて予算を組んで行きたいことの説明があった。

山田理事から、ハイブリット型のセミナーについて情報提供があり、技術的な情報について確認をしたいことの説明があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和２年９月１６日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　小澤 恒夫　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　上島　健　㊞

出席理事　高橋　明　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　川村 道夫　㊞